

162

前北齋已翁筆

初心畫鑑

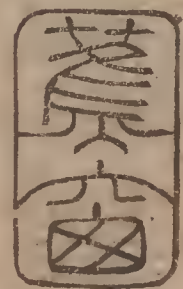
癸卯春

平林堂梓

山岷水秀自有清
音何人寄跡取焉
梨心

作四言以當小引

蕉窗醉翁



精 妙 畫 意

畫鑑目次

清女春の曙
花王
孟宗
晩冬の山水
風雨の竹
鷄
丁子
狸
凡世有四条
布衣の戯
松は犀鳥
雪の竹
小町
泊芙蘭
屈原
胡椒
奈良の秋
初茵
大黒
雨中の獅子
梨花色渠
蠅螂
豊
鴉
雪中の舟行





わてい
たまや
布袋の戯





花王

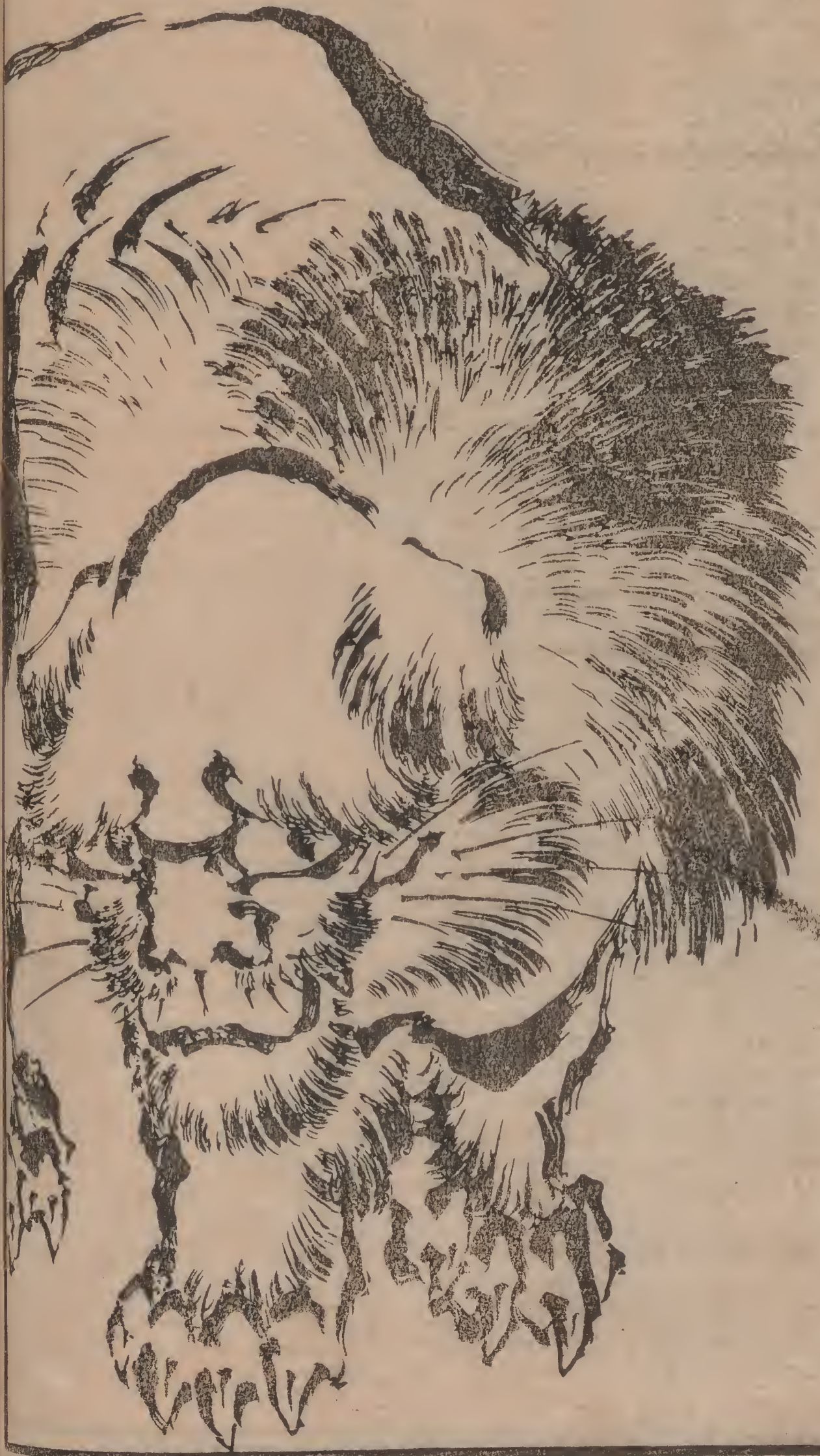




群鳥
ぐんちう



うちあし
雨中也獅子



晚冬乃山水
ばんとうのさんすい





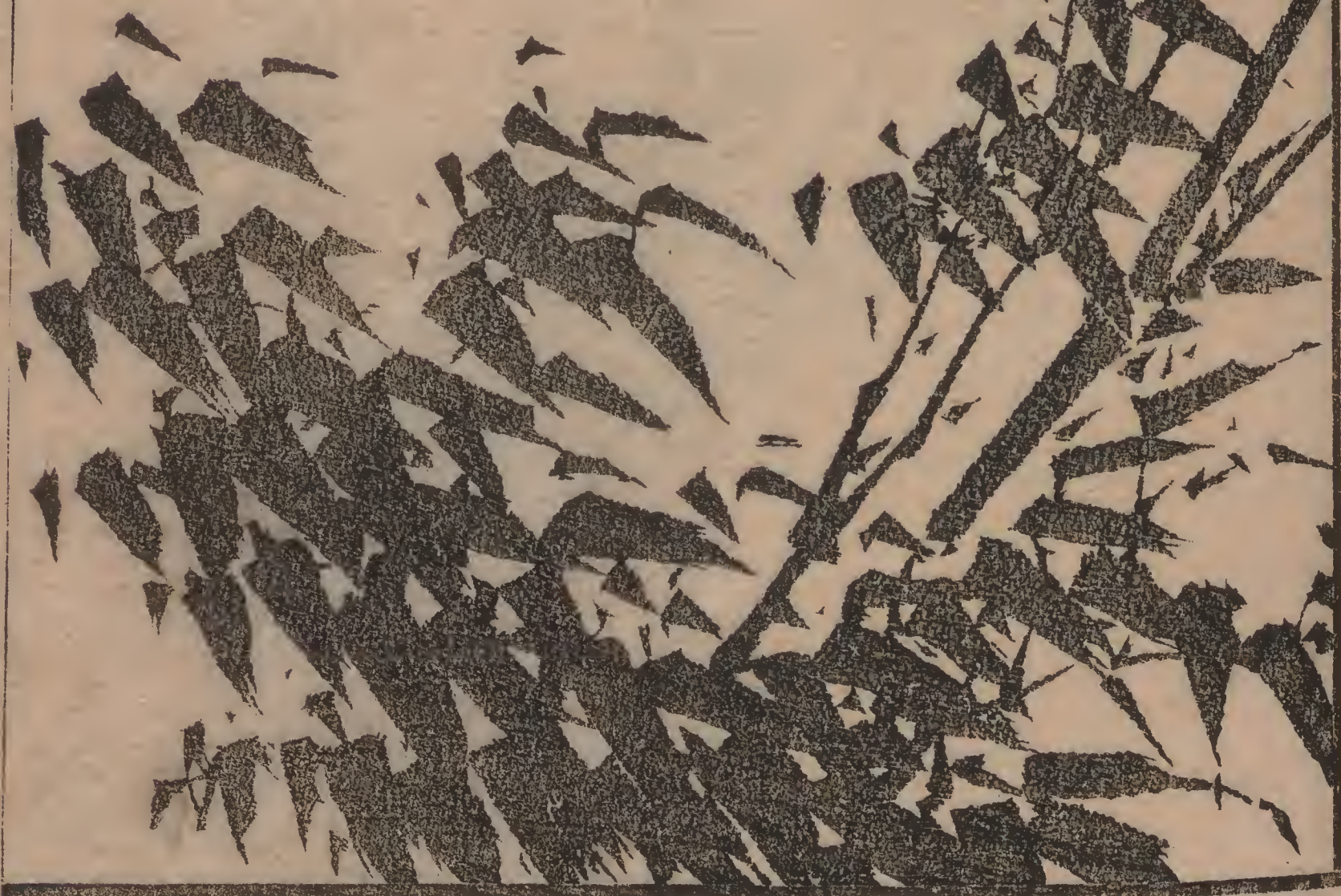
なーはか
利木の花

いーちき
邕渠



せきへらこま
関寺小町

此君渾不
俗佳客已相
留研高



風雨此竹

燕夷竹字ヲ除ク

蠟
鯨



香
瓜

まくら

赤

オ
フ
ラ
ン

花
ム
ラ
サ
キ





鷗
羽の
振を
小

くつげん
屈原



べきら
涙羅の
渾父



丹心許國身何避徒
被漁夫憐憔悴澤
畔行吟憂永深獨
醉無力醒他醉

蕉窗破石題

研高寅書



胡椒 こしょう



丁香 ていこう



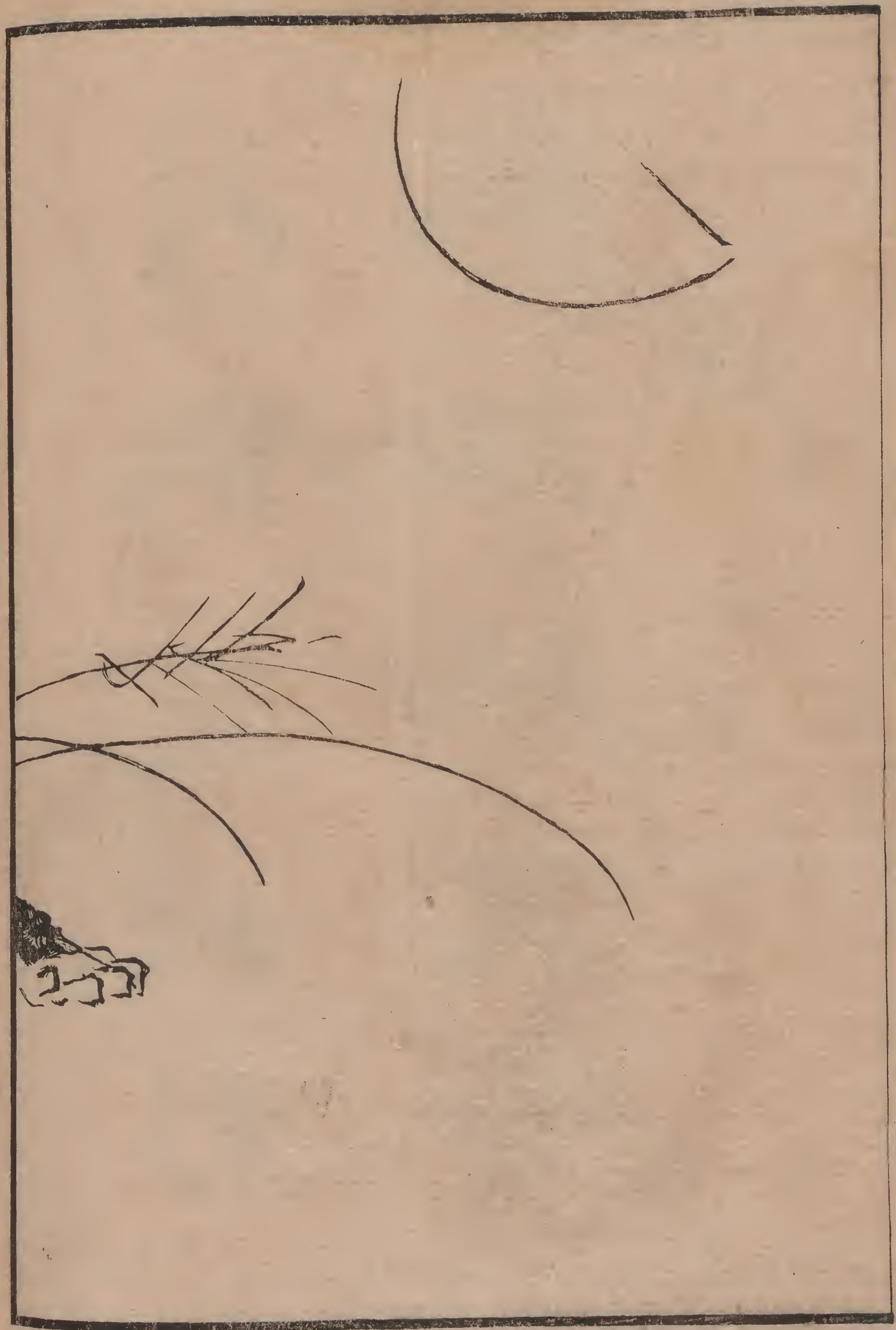


山鴉
カラス

月散龍蛇影

風搖琴瑟音

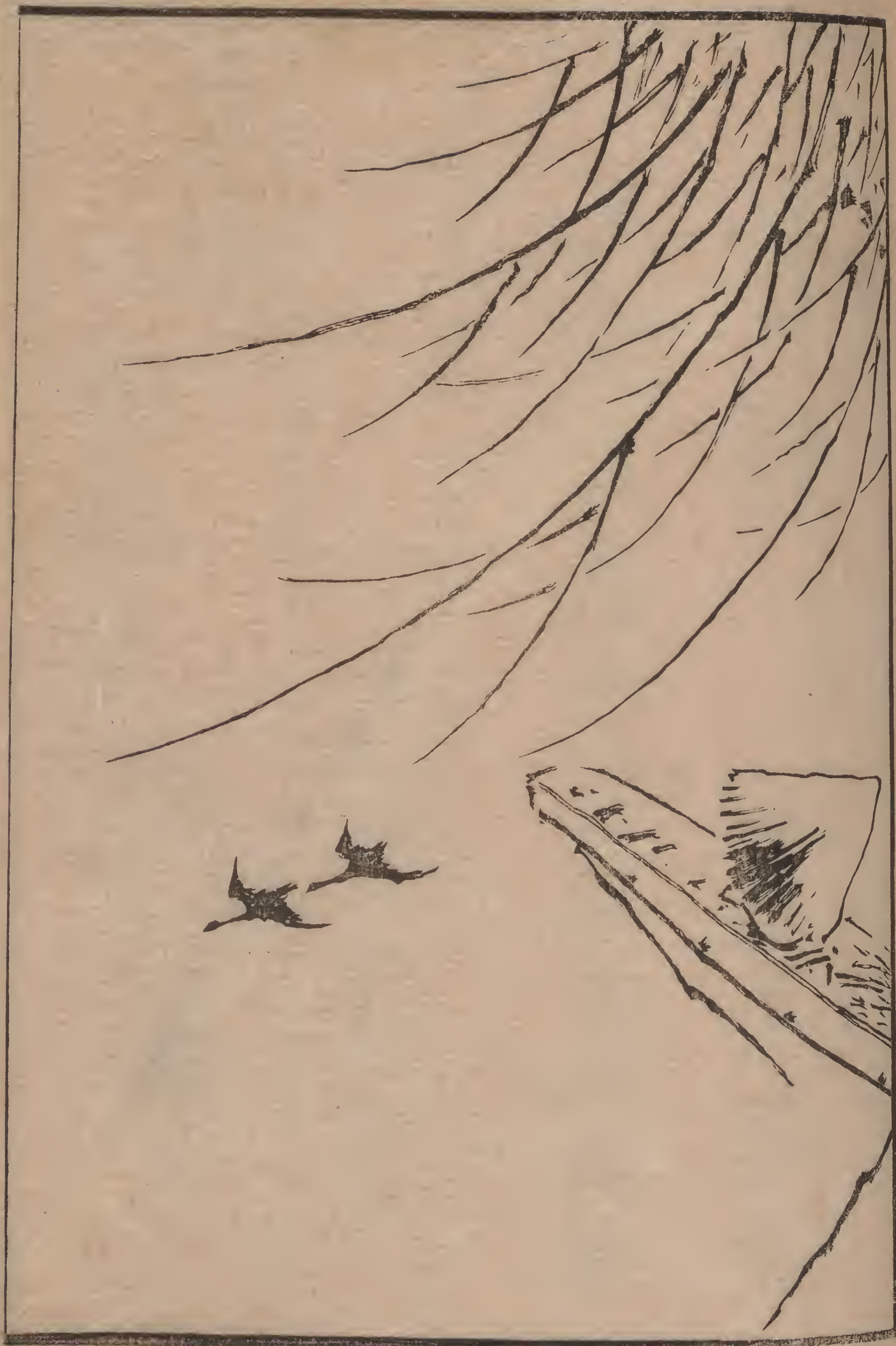
孫
高





ならあき
奈良比秋





東都 前北齋 北翁筆

鈴木榮次郎彫刻

天保十四載癸卯初春吉辰發市
書鋪 平林堂壽梓

